

私事で恐縮ですが、8月20日北見市民会館で山下達郎さんのコンサートに行ってきました。初めて彼の音楽に触れた時、私は15歳でしたから、かれこれ38年聴き続けていることになり。山下さんは65歳になった今も3時間を優に超えるコンサートを非常に高いクオリティで行っています。1323人収容できる北見市民会館は満員御礼、会場は団塊の世代と呼ばれる方々が多かった。想像してみてください。60歳前後の初老と呼ばれる人たちが、身体中にエネルギーを滾らせ手拍子や声援を送る様子を。これがおそらく音楽文化の持つ力なのでしょう。山下さんも演奏の途中でこうおっしゃっています。「お客様も日常生活では、色々ありでしょう。ご自分の健康の問題、家族の問題、介護の問題、仕事の悩みなど。でも、こうして足を運んでくださったことで楽しい有意義な時間を過ごし、また明日からの糧になってくれれば、私にとっても嬉しきことではありません。」真摯に音楽に向き合い、北見という小さな地方都市でコンサートをしてくれるありがたさを感じざるを得ません。話は全く変わりますが、全国の地方都市や町がここ20年くらいどこも画一化してきています。つまり街並みが全国同じになってきたということです。利便性を追うために失ったものは大きく、肉屋や魚屋、駄菓子屋、銭湯が日本の街並みから姿を

消しつつあります。しかし、それらは町の社交場になり子どもたちのサーフネットでした。今日本で元気のある町はそういう社交場を再び自ら作り出しています。大きい小さいは関係なく若者を引きつけている町は雇用・居場所・教育をしっかり整えています。以前も書きましたが、女性に選ばれられるような、センスが良くリベラルな空気が漂う所に人は集まってくるような気がします。そのためにも文化的な土壌を整えて行くことがとても大切です。文化がなくとも人は生きていますが、しかし文化は人の暮らしに潤いを与えてくれます。山下達郎さんの音楽が文化であるように雄武にも雄武らしい文化が育つてくれるのと思っています。来年雄武には、新しい図書館ができがあります。そこが雄武文化の発信基地になり、徐々にその裾野が町内に広がっていき、町の魅力が一つまた一つと増えていくことを願っています。

地域おこし協力隊が行く！



地域おこし協力隊
観光推進
支援員 佐藤 寧

Activity Report

地域おこし協力隊 ～活動レポート～

Everyone's dispensary

11月14日は
世界糖尿病デー

みんなの保健室

今回のテーマは、雄武町においても重要な健康課題である「**糖尿病の早期発見**」です。

糖尿病は初期には自覚症状がないことが特徴です。

気付かないうちに糖尿病が進むと、目・腎臓・神経・心臓・脳などに重大な合併症を引き起こし、時には死に至ることもあるため「サイレントキラー」と呼ばれています。

◆早期発見のために有効なのは健康診断！

自覚症状のない病気の発見には健康診断がとても重要です。

1年に1回は健康診断を受けて、自分では気付けない身体の変化を確認することが大切です。

町の健康診断を受けていただくと、こんな結果表が送られます。

5年分の結果が並び、気を付けたいところには色がつくようになっています。

↓特定健康診査受診結果通知表

糖尿病に関する項目の検査結果

インスリン	血糖	空腹	~ 99 mg/dl	93
		食後	~ 139 mg/dl	
	HbA1c (NGSP)	NGSP	~ 5.5 %	5.1
	尿糖		(-)	-

◆ぜひご相談を

保健係では、健康診断の受け方や結果の見方、食べ方や運動などについて、保健師・管理栄養士がいつでもご相談をお待ちしています。お気軽にご利用ください。

関保健福祉課保健係

Kids

わんぱくキッズ (子育て支援センター) ～仲良し親子教室～



なかじま
ちほちゃん (2さい)



あべ
きさきちゃん (3さい)



かわい
ひまりちゃん (2さい)



ひらま
たけるくん (2さい)

『墨で表す』

Art Museum

小さな美術館 ～雄武小学校6年生～